

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	こども音楽療育実習				
担当者氏名	児玉 達郎				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	4年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-4 発達の深い理解 ◎ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

音楽療育を実施するための実践方法を学び、学内外の施設において実習を行う。
 対象者の目的に合わせて、適切な音楽を選曲し、意図的・計画的にセッションを実施する。
 こども音楽療育概論の講義を同時に履修すること。
 (対象者や実習先の状況などにより、授業計画が変更される可能性がある)

《テキスト》

随時、資料を配布する。

《参考図書》

参考書・資料等 参考書：適宜紹介する。
 資料：必要に応じて配布する。

《授業の到達目標》

- ・音楽療育に関する専門知識や技術を使って総合的にセッションを実践することができる。
- ・対象者の合わせて、5分～10分程度のセッションを組み合わせ、30分程度の音楽療育を、自立的に実施できる。

《授業時間外学習》

授業で配布するプリントを読み、実習の準備をする。

《成績評価の方法》

平常点 50%
 実習 50%

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	音楽療育実習についてのオリエンテーション	音楽療育実習の説明
2	実習1	音楽療育士としての職業倫理について
3	実習2	アセスメントについて 目標設定について
4	実習3	計画の作成について セッションの形・プログラム内容の検討について
5	実習4	音楽の選曲・既成曲の編曲について
6	実習5	各セッションのための計画
7	実習6	セッションの準備1
8	実習7	セッションの準備2
9	実習8	セッションの準備3
10	実習9	セッションの準備4
11	実習10	セッションの実施・観察・記録1
12	実習11	セッションの実施・観察・記録2
13	実習12	セッションの実施・観察・記録3
14	総括1	セッションの報告
15	総括2	セッションの総括